

IUGS 法地質学イニシアチブ及び法地学国際ネットワークの活動 -犯罪捜査のための地質学-

Activities of the IUGS-IFG and GIN - The Applications of Geology to Help Investigate and Solve Crimes -

杉田 律子^{1*}, Laurance Donnelly²
Ritsuko Sugita^{1*}, DONNELLY, Laurance²

¹ 科学警察研究所, ²IUGS-IFG 代表

¹NRIPS, ²IUGS-IFG Chair

本発表では、IUGS 法地質学イニシアチブ (International Union of Geological Sciences Initiative on Forensic Geology 略称 IUGS-IFG) 及び法地学国際ネットワーク (Geoforensic International Network 略称 GIN) の活動について報告する。

法地質学 (forensic geology, geoforensics, forensic geoscience) とは、地質学を犯罪捜査へ応用するものである。例えば、証拠資料として発見された土砂はどこに由来するのか、事件の発生した季節の推定、または地中に遺棄された死体等の探査などにより捜査活動を援助している。つまり、地球科学は (a) 微細証拠物件の鑑定検査、(b) 地中の探査、といった二つの点から犯罪捜査に貢献することができるのである。ただし、これらの活用状況や法地質学そのものに対する認識の程度は国によって様々である。

微細証拠物件の鑑定検査

犯罪に関係して発見された地質学的鑑定資料の収集・保管から分析、解釈、報告書の作成及び証言の各段階において地質学的専門知識が必要とされる。このような証拠資料には、岩石や土砂をはじめとして、コンクリート、レンガ、ガラス、石膏ボードのような鉱物資源を原料とした人工物や微化石等の非常に様々な物質が含まれ、容疑者や被害者の身体や衣服、車両などに意図せず付着している。このような多様性に対して地質学で用いられている様々な手法により解析を行い、証拠資料の同一性や由来の推定を行っている。

探査

地中には殺人事件や大量虐殺の被害者が遺棄されたり、武器、爆発物、盗品等が隠匿されることがある。これらの捜索に、物理探査等の地質調査の手法が活用されることがある。

IUGS-IFG は 2011 年 1 月に「国際的に法地質学を発展させ、その活用を推進する」ことを目的として発足し、ユネスコから活動資金の一部を得ている。

IUGS-IFG は以下のような基本方針の下、活動している。

- 1 警察等取締機関あるいは刑事、環境及び民事事件捜査に対する法地質学の活用事例に関するデータや情報を収集し、発信する
- 2 国際的な集会、セミナー、会議及び教育を推進する
- 3 活動を活発化させるために必要な幹事会を設ける
- 4 国際的なネットワークを設け、ネットワークのメンバーが、各国内において法地質学の情報を収集し、普及させることができるようにする
- 5 法地質学に関する文書、発行物について收拾し、利用可能にし、また、必要に応じてレビューを行う
- 6 幹事会が推薦する「法地質学の手引き」を作成する

また、GIN は法地質学に関わる研究者を中心とした国際的なネットワークであり、2013 年 1 月現在で約 30 カ国からの参加がある。IUGS-IFG と GIN は、法地質学に関する学会会議の開催だけでなく、アウトリーチプログラムや法地質学に関する研修を国際的に実施している。2012 年には IGC において法地質学のセッションを開催し、今後も世界各地で法地質学の普及活動が予定されている。

IUGS-IFG の活動については以下のサイトも参考にされたい。 <http://www.forensicgeologyinternational.com/>

キーワード: 法地質学, 法地学, 法地球科学, IUGS 法地質学イニシアチブ, 探査, 地質学的証拠資料

Keywords: forensic geology, geoforensics, forensic geoscience, IUGS-IFG, search, geological trace evidence